

4年ぶりの「南会津新そばまつり」

10月9日10日、4年ぶりに南会津新そば祭りが開催されました。2019年は台風で中止となり、2020年と2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていました。

会場となった御蔵入交流館駐車場は予想を上回る人でぎわい、そば店の前には長い行列ができていました。そば店は地元南会津町から2店舗、下郷町とあぶくま地方からそれぞれ1店舗ずつ。合わせて4店が出店しました。2018年には8店舗のそば団体が出店しました。今年は半分の出店でした。

そばは、ゆでてもゆでても、注文が入ります。そばうちも調理室などで休みなく行われていました。そばは2日間でおよそ12000食販売したそうです。福島から来たという男性は「友人家族ときた。8人分頼む。1時間以上並んが。久しぶりなので、頑張って並んだ。待ちすぎて疲れたが、おいしく食べた」と話していました。

会場には蕎麦以外のお店も並びました。しんごろうや揚げ物、地酒など、販売が間に合わなくなるほど賑わっていました。台東区や旧伊南村と姉妹都市の埼玉県伊奈町からの出店もありました。忙しいなか笑顔があふれていました。



10月9日 長蛇の列



早朝から夜まで蕎麦うち

埼玉県 伊南町から ばらが自慢

南会津の地酒を味わう

10月1日、丸山館で南会津の4蔵の地酒と料理を味わう南会津の秋を味わう会が、開催されました。南会津の蔵元や地元の飲食店などで行う地酒で乾杯プロジェクトの主催でおよそ100人の皆さん訪れました。

元福島県ハイテクプラザ職員で福島県日本酒アドバイザーの鈴木賢二氏が、福島県の酒が新酒鑑評会で金賞を獲得した歴史や南会津産清酒のおいしさ等について講演しました。訪れた皆さんは純米吟醸と日本酒を4蔵分ずつ味わいました。この日は牛乳の乾杯条例を設けている那須塩原市の牛乳も一緒に楽しみました。



日本酒について話を聞く



関東方面から若者も訪れた

南会津の地酒を味わう 都内でも

南会津産の日本酒ファンを増やイベントが都内でも活発に行われています。10月7、8日、東京港区の八芳園でも南会津の蔵元と、料理を楽しむイベントが開催されました。東京周辺や南会津ゆかりの人が訪れ楽しみました。



東京 八芳園料理長の料理と南会津の酒を楽しんだ

消防検閲

10月23日、南会津町消防団 令和4年度検閲式が行われました。

国道121号中町地内で関団と通常点検、機械器具点検がおこなわれました。通常点検と機械器具点検では、渡部正義町長と佐藤一範副町長が検閲官として検閲しました。

御蔵入交流館駐車場では小隊訓練が行われまし



国道121号中町地内から分列行進で御蔵入交流館へ

新校旗と挨拶する
150周年実行委員長 星聖司さん

6年生 150年前の小学校の様子を劇で



1年生 着物姿で150年前の児童役

田島小学校 創立150年

田島小学校は今年で創立150周年を迎えます。2000年以降の父母と教師の会長などで構成する実行委員会では実施名に「創立150年」を追加し実施しています。10月29日の学習発表会では、完成した新校旗が披露されました。6年生は明治時代からの学校の様子を劇で発表しました。